

オレンジブック 2017 年版 ③生物 (2016 年 4 月 1 日 第 1 刷) 訂正表

2016 年 4 月 15 日現在

誠に申し訳ございませんが、以下の箇所の訂正をお願い申し上げます。

ページ	箇所	訂正前	訂正後
435	問 2 設問 選択肢 4	～妨げる。で活性化される。	～妨げる。
	問 2 解答 過去出題 解法のポイント 解説	<p>※以下に差し替え。</p> <p>3・4</p> <p>91 回 問 43</p> <p>Vmax と Michaelis 定数の競合阻害、非競合阻害の問題は出題されやすいのでしっかり復習しましょう。</p> <p>1 ×：酵素活性はそのタンパク質の立体構造によって決まる。鏡像異性体間では、反応速度は異なる。</p> <p>2 ×：酵素には最適温度が存在し、酵素反応は温度にも影響される。</p> <p>3 ○：基質以外の物質が活性部位以外に結合し、酵素活性を調節することがある。これをアロステリック効果という。</p> <p>4 ○：競合的阻害剤は、酵素の活性部位を基質と奪い合うことで阻害する。酵素との結合は可逆的である。</p>	
436	問 3 解答 過去出題 解法のポイント 解説	<p>※以下に差し替え。</p> <p>2・4</p> <p>92 回 問 42</p> <p>タンパク質の修飾の問題は国家試験でも出題されやすいですので、しっかり復習しましょう。</p> <p>1 ×：ヒストンは塩基性タンパク質であり、ヒストンのメチル化により塩基性は強くなり、ヒストンのアセチル化により塩基性は弱まる。</p> <p>2 ○：タンパク質がリン酸化されれば相対的に酸性度が強くなり、等電点も変化する。</p> <p>3 ×：ヘムが結合していない場合をアポ酵素、ヘムが結合している場合をホロ酵素という。</p> <p>4 ○：スーパーオキシドジスムターゼは、活性酵素を除去する酵素であり、補因子として亜鉛や銅を含む。</p>	
	問 4 過去出題	92 回 問 42	92 回 問 41